



Arban Glass Forest

雑多な都市の中にある、純粹なガラス空間

ここではガラスの木々が、空、太陽、人間を、写し取りながら、かすめていく

夕立が木々を紅葉に染め、街のネオンはまるで星のようにポケットパークの中に導かれる

雨上がりには雨粒の輝き感じ、幾重にも重なった木々の影で本を読む

時間、天気、人間の数によって変化する、現象の森

何もないようで、…そこには都市の森がある。